

聴解力を育成する「現代の国語」の授業

— 「聞くこと」における意識や資質・能力の項目を視覚化したチェックシートの活用を通して —

坂本 真紅¹

「現代の国語」は「実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する科目」として新設され、〔思考力、判断力、表現力等〕における「話すこと・聞くこと」の授業時数が増加した。科目再編の重要性を鑑み、本研究では「聞くこと」に焦点を当てた単元を構想し、展開することとした。新たな試みとして、「聞くこと」のチェックシートを用いた「聴解力の育成」を目指した結果、一定程度の成果が得られた。

はじめに

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」では、「高等学校の国語教育においては、教材の読み取りが指導の中心になることが多く、国語による主体的な表現等が重視された授業が十分行われていない」、「主体的な言語活動が軽視され」ている(中央教育審議会 2016)と指摘されている。

また「令和4年度 全国学力・学習状況調査 神奈川県公立小・中学校調査結果の分析・活用資料」によると、中学校・国語において「『自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す』記述式設問の平均正答率が低い」(神奈川県教育委員会 2022)と示されており、「令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書 中学校 国語」では「意図を明確にして話し方の工夫を具体的に考えることに課題がある」(文部科学省 国立教育政策研究所 2022)と示されている。

所属校においても、同様の課題が見られる。自身の経験や国語科の同僚への聞き取りを踏まえると、「読むこと」や「書くこと」の指導に重点が置かれていたことが分かる。1学年の担当教諭が「現代の国語」の授業で生徒を対象に実施したアンケート調査では、「話を的確に聞き、内容を捉えることができていないために会話が上手く噛み合わない」、「相手が言いたいことの解釈違いをしていた」という回答があった。

滝浪は「『話すこと・聞くこと』の指導を考える上で、まず他者の言葉を『聞く(聴く、訊く)』の指導をいかに行っていくかが重要である」(滝浪 2013)と指摘している。また、神田は「『聞くこと』の能力を向上させることは、『話すこと』『読むこと』の能力向上にも繋がっていく」(神田 2019)と述べている。

これらのことから、「話すこと」「聞くこと」の指導を充実させるためには、「聞くこと」の言語活動を意識的に実施し、指導の仕方を見直すことが必要だと考えた。

山中は「子どもの聞く力を高めるためには(1)話の内容を正確に聞き取る技術を子どもに持たせること。(2)話を虚心に、素直に聞いて自分の行動の指針にしようとする態度を育てること」(山中 2007 p. 3)が必要だと述べており、この二つの事項を合わせて「聴解力」と定義している。以上のことを踏まえ、次のような研究の目的を設定した。

研究の目的

「現代の国語」において、「聞くこと」における意識や資質・能力の項目を視覚化したチェックシートの活用が、「聴解力」の育成に効果的であることを明らかにする。

研究の内容

1 「聴解力」とは

山中は、「聴解力」を「読解力」と対になる術語とし、話を聞いてその意味を理解し、解釈することと説明している。また、「聴解力」の三要素とは、聴く構え、メモを取る技術、価値を感受する資質や能力であると示している(山中 2007 pp. 16-18)。

このような先行研究を踏まえ、本研究では、「聴解力」を次のとおり定義付けた。

ア 話の内容を正確に聞き取る技能
イ 話を素直に聞いて自分の行動の指針にしようとする態度

さらに、山中は、「聴解力」の育成のためには、聴く姿勢を身に付けることが重要であると示している。聴く姿勢とは、話の内容を聞き取る技術以前の、体の構えと心の構えのことを指している。体の構えとは姿勢のこと、心の構えとは、聴こうとする気持ちや、目的意識を指している(山中 2007 p. 17)。

これらのことから、本研究では聴く姿勢を作り、意識を高め、聴解力を育成していくことを目指す。

1 県立荏田高等学校 教諭

2 チェックシートについて

高橋(2007)が、聞く力の能力表として記載している能力要素の一覧と、神田(2019)の「聞くこと」の能力分類表を参考に、聴解力を育成するための指導をするため、「『聞くこと』を通して自分を育てるチェックシート」(以下、チェックシートという)(表1)を作成した。

チェックシートの目標は、その活用を通して聴解力を育成することである。聴解力を育成することは、『高等学校学習指導要領解説 国語編』の「現代の国語」の内容〔思考力、判断力、表現力等〕に定められている「論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする」(文部科学省 2019)という「聞くこと」(エ)の指導事項を踏まえることとなる。チェックシートは学習のプロセスを示しており、聴解力を生徒が身に付けるための土台として、聴く姿勢を盛り込んだ[意識]を表す(1)「信頼関係の向上」と定義のア・イで示した[資質・能力]を表す(2)「情報の整理」(3)「対比と分析」(4)「統合」の四つに大きく分類し、23の項目を設定した。「現代の国語」の「話すこと・聞くこと」の単元においてチェックシートを活用し、すべての項目にチェックが入ることにより「聞くこと」(エ)の指導事項を振り返ったこととなり、聴く姿勢が整い、「聴解力」の育成につながるものとした。

表1 「聞くこと」を通して自分を育てるチェックシート

（1年 組 番氏名）				
科目	「現代の国語」			
〔目標〕	1. 話の内容を正確に聞き取る。 2. 話を素直に聞いて自分の行動の指針にする。 ⇒ 聴解力			
〔指導事項〕	「聞くこと」(エ) 話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深める。			
〔使い方〕				
・単元の目標として、最初にチェックする項目を決めるので意識するようにしてください。				
・単元の最後に、意識して取り組むことができた人は、最初に決めた項目にチェックをします。				
・「現代の国語」の一年間の授業で、すべての項目において1回以上のチェックを目標とします。				
「聞くこと」を通して自分を育てるチェックシート				
分類	項目	日付	チェック	
（1） 信頼関係の向上 ☆☆	・話している人の顔を見る。（→話していることを認識する）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	○ 話し手が話しやすいような態度で聞く。 （→相手を打つ、震く）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・話を素直な態度で、真心を込めて聞く。（→話し手の立場になる）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・話し手の意見を尊重して聞く。（→存在感を共に感じる）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
（2） 情報の整理 ☆☆	○ 聴く興味を持って楽しんで聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	○ 新しいことを知るために進んで聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・聞き取り、理解したことを課題に受け止める。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・情報を整理し、問題意識を持って聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
（3） 対比と分析 ☆☆☆	○ 聞き手としての立場や、聞くポイントを意識して聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・話の展開や筋道に矛盾がないか考えながら聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・話の内容の不足している点を考えて聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・要点を聞き取り、主張や結論を予測する。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
（4） 統合 ☆☆☆☆	・話し手の意図を予測して質問できるようにする。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・要点をまとめながら聞き、メモを取って聞き漏らさないようにする。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・話の内容と相手の意図、場面を正確に捉える。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	○ 聞いた内容を自分の意見と比較しながら聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・複数の発言の共通点と相違点、事実と意見を区別しながら聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・感情や賛同を持ち、話を批判しながら聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・資料（図、表、映像など）と関連付けて聞く。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・聞きながら自分の意見をまとめる。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	○ 聞いた内容から自分の考えを修正し、より良い考えや、新しい考えを構築する。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・意見の賛成、反対を考えながら聞き、自分の思考を決定する。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	・聞いた話に関連のある資料を集めて、話に役立つようにする。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
〔最終目標〕・・・「聴く」姿勢が整い、「聴解力」が身に付いていること。				

3 研究の仮説

本研究における仮説は次のとおりである。

「聞くこと」における意識や資質・能力の項目を視覚化したチェックシートを活用すれば、聴解力を育成することができるだろう。

4 仮説検証の視点

聴解力の定義アを(1)、定義イを(2)の視点で検証することとした。

(1) 話の内容を正確に聞き取る技能を身に付けることができたか。

チェックシートの活用を通して、生徒が正確に聞き取るポイントを理解し、正確に聞き取る技能を身に付けることができたかをワークシートから見取る。

(2) 話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めることができたか。

「話を素直に聞いて自分の行動の指針にしようとする態度」を育成するためには、考えを深めることが大切だと考える。相手の話を素直に聞き、聞き取った情報を整理し、自分の意見と対比するなどして分析することで、考えが深まり、行動の指針の発見につながっていく。生徒の考えの深まりをワークシート、振り返りシート、事前事後アンケートから見取る。

(3) チェックシートの活用が適切だったか。

聴解力の育成のために、チェックシートの活用方法や場面が適切だったかを事後アンケートから見取る。

5 検証授業

(1) 概要

【期間】令和5年9月25日(月)～10月6日(金)

【対象】荏田高等学校 第1学年2クラス(79名)

【科目】「現代の国語」

【題材】山本茂行「動物園というメディア」
現代の国語(数研出版)

【単元名】他者の意見を聞き、自分の考えを深める

【時数】5時間

【単元の目標】

・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(2)エ

・話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)エ

・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

【本単元における言語活動】

他者の意見を聞き、同意したり、質問したりする活動。

(2) 学習の流れ

主な学習活動は表2のとおりである。

表2 学習の流れ

単元を通しての問い	
動物園の在り方について考える。	
時	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の見直しを持つ。 聴解力について理解する。 単元を通して身に付けたい聴解力の項目を確認する。 教科書本文の聞き取りを行う。
2	<ul style="list-style-type: none"> テーマにおける自分の考えを整理する。 聞き手を意識した発表原稿を作成する。 グループで意見交換を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取った情報を整理して、ワークシートに記入する。 意見交換を通して、自分の考えを深める。 チェックシートの項目を意識し、発表につなげる。
4	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループの発表を聞き、自分たちのグループとの相違点を見付ける。 グループで話し合ったことを発表し、全体で共有する。
5	<ul style="list-style-type: none"> テーマに対する自分の考えをまとめる。 チェックシートにチェックを入れ、単元を振り返る。
チェックシートの活用方法	
授業の最初	身に付けたい項目を確認し、授業にいかすようにする。
授業の最後	振り返りを行う際、確認しながら振り返りシートに記入する。

(3) 各時の概要

ア 第1時

第1時では、生徒が目標を認識することで学習の見直しを持てるよう、学習のねらいと活動の内容、チェックシートの活用について説明した。また、聴解力について解説し、チェックシートを用いて、単元を通して身に付ける項目を確認した。次に、聴く姿勢を整えるため、チェックシートの[意識]について理解させ、[資質・能力]の育成を目指した。本単元のねらいに即する6項目を、チェックシートより選定した。

①話し手が話しやすいような態度で聞く。(1)
②話に興味を持って楽しんで聞く。(1)
③新しいことを知るために進んで聞く。(1)
④聞き手としての立場や、聞くポイントを意識して聞く。(2)
⑤話の内容を自分の意見と比較しながら聞く。(3)
⑥聞いた内容から自分の考えを修正し、より良い考えや、新しい考えを構築する。(4)
※()内の番号はそれぞれチェックシートの分類を示している。

さらに、正確に聞き取る手段として、メモを取ることの有効性や、メモの取り方について指導した。本時の展開として、教科書本文を教員が読み上げ、キーワードをメモする活動を取り入れた。段落ごとに聞き取る情報や整理の仕方の難易度を上げていき、最後の段落では、聞き取ったメモから、自分で要約をする活動を行った。

イ 第2時・3時

第2時では、単元を通しての問いを踏まえ、次の五つのテーマを提示した。それぞれ二つのグループ(全10グループ)に割り振り、自分の考えを整理した。

<ul style="list-style-type: none"> 動物園の役割 動物園の現状 動物園の未来 災害時の動物園 動物園の歴史

第3時では、グループ内で互いの意見を発表し合い、聞き取った情報を整理した。

【学習活動1】発表原稿を作成する。聞き手のことを考え、自分が「伝えたいこと」と「課題に思うこと」の2点についてまとめる。

【学習活動2】グループ内でファシリテーター等の役割を決め、全員が1分程度発表する。聞き手は意見をメモする。その際、キーワードのみをメモし、全文は書かないようにする。

【学習活動3】聞き取ったメモを参考に、自分の意見と比較し、新たに気付いたことを箇条書きで書く。

【学習活動4】学習活動3で書いたことを意見交換する。その際、「参考になった意見」と「問題点・疑問点」をメモする。

【学習活動5】「問題点・疑問点」について、改めて自分の考えを書く。

ウ 第4時・5時

第4時では、各グループの代表がテーマに対する発表を行い、クラス全体で共有した。第5時ではチェックシートの6項目にチェックを入れ、最終的な自分の考えをまとめることを通して全体の振り返りを行った。

【学習活動6】

(ア) 同じテーマのグループの代表の発表を聞き、自分たちとは異なる意見をメモする。一つのグループにつき、2分程度発表する。

(イ) 自分が調べたテーマ以外の8グループの発表を聞き、分かったことをキーワードのみメモする。

【学習活動7】学習活動1で記載したことと、発表を聞いた後の自分の意見を比較し、他者の意見を踏まえて、最終的な自分の考えをまとめる。

これらの言語活動を通して、正確に聞き取る技能が身に付き、聞き取った情報を整理して、自分の考えを深めることができる単元を目指し、授業を行った。

6 検証結果と考察

(1) 質問紙調査

検証授業前後に、「聞くこと」についてどのように捉えているかを知るために質問紙の調査を行った。

【質問紙調査実施期間】

[事前] 9月21日(木)、22日(金)

国語科の授業に対する意識調査及び実態調査

[事後] 10月10日(火)

国語科の授業に対する検証授業後の変容の調査

(2) 仮説の検証

ア 話の内容を正確に聞き取る技能を身に付けることができたか。

第1時の授業で行った教科書本文の聞き取りから、生徒のワークシートのメモと正答例を比較した。始めは単語を聞き取ることや、メモを取ることに慣れていなかった生徒も、第1時の授業内において、何がキーワードに当たるかの判断をしながら、意欲的に取り組む様子が見られた。生徒の記述内容を図1に示す。

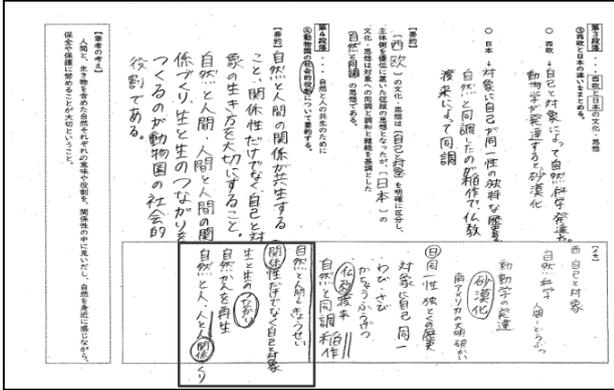


図1 生徒の記述内容

メモには、丸で囲んだり、線を引いたりするなどの工夫が見られた。要約の正答例と生徒の記述の比較をすると、「自然」「人」「共生」「生と生のつながり」「自然観」などのキーワードをメモし、聞くポイントを意識したことで、要約にいかすことができていることが分かる。

〔要約の正答例〕

自然と人の関係を共生の関係にしていくために、日本の自然観を現代において再生することは意味がある。動物園が生と生のつながりを人々に伝える社会的役割は大きい。

また、生徒は聞き取りを行う中で言葉の意味や言葉と言葉の関係に、より着目しキーワードを精選するなど、正確に聞き取ろうとする姿勢が見受けられた。

これらのことから、話の内容を正確に聞き取る技能を身に付けることにつながったと考える。

イ 話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めることができたか。

図2は、「他者の話を素直に聞いて、自分の行動の方向性(指針)にしようと思いませんか」という質問(4件法)に対する回答の割合である。

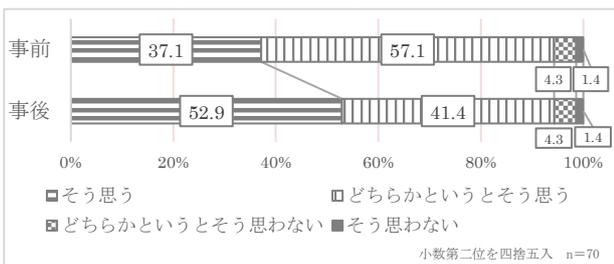


図2 生徒の回答①

「そう思う」が15.8ポイント増加し、他者の話を聞くことが、自分の行動の方向性を定めるために重要であるということへの意識の高まりが表れる結果となった。

次に、振り返りシートの記述内容から、生徒が本単元を通して感じたことを分析していく。

振り返りシートは授業の最後に記入し、その際にチェックシートの項目を確認するよう指導した。目的意識を持って聞くことや、自分の活動を自己評価することで、取組についてメタ認知し、自己調整できるようにした。

表3は第5時の授業で、「本単元を通して学び得たこと」について、記述した内容である。

表3 第5時の振り返りシートの記述内容 (抜粋、下線は筆者)

本単元を通して学び得たこと
・聴くことの大事さ。最初は他の人の意見は聞き流して自分の意見を考えることに重点を置いていたが、 <u>他の人の意見を聞いて、素直にのみ込んでメモをして自分の意見と比較することで相違点が見つかり、自分の知識となった。</u> (生徒A)
・聞くことの重要性を深く理解することができた。 <u>他の人の意見を聞くことで世界が広がり、自分の意見を新しくすることを学ぶことができた。</u> (生徒B)

振り返りシートの内容から、「聞くこと」の大切さを認識し、他者の意見を取り入れ、様々なことを手掛かりにして次につなげようとする姿が見受けられる。また、他者の意見を参考にし、新たな知識が得られたと実感していることが読み取れる。

次に、本単元で設定した問いに対して、ワークシートにおける生徒の考えの深まりを見取ることのできる記述内容を表4に示す。

表4 ワークシートから見取れる考えの深まり (抜粋、下線は筆者)

・もともと自分は、動物がストレスを感じていたり、自由が奪われていると感じているのなら、動物園の廃止や現代ならではのCGで動物園を作り出すのがいいと考えていた。しかし、 <u>他の人の意見を聞き、動物園を廃止するべきだと考えるのではなく、動物園がどうすれば本来の自由な姿に戻してあげるのか、その中で動物を守っていこうと考えた方がいいという考えに変化した。</u> (生徒C)
・動物が動物園から姿を消してしまうことは、できるだけあってはならない事だと思い、無駄遣いしている税金を動物園の費用に回したりするべきだと思っていたが、8班の動物の数を減らして費用を削減するという意見も今後、動物園を維持していくための <u>一つの考え方だと思った。動物と人間は同じ価値という意見や今の動物園は人にしかメリットがないという意見を聞いて動物にストレスを与えないことがとても重要なことだと分かった。</u> (生徒D)

両者とも、テーマに対する自身の考えを、根拠を持って記述することができている。また、生徒の記述から、同じテーマで意見交換したり、異なるテーマの発表を聞き、情報を精査したりすることで、他者の意見と自分の意見を比較し、より自分の考えを深めることができたと考えられる。

以上のことから、今回行った言語活動において、生徒は新たな視点に気付き、自分の考えを形成し、自分の行動の指針につなげることができたと考ええる。

ウ チェックシートの活用は適切だったか。

チェックシートは、単元の最初、毎授業の始め、授業の最後の振り返りで活用した。チェックシートを確認しながら、ワークシートや振り返りシートを記入するよう指導し、生徒が単元を通して身に付ける聴解力の項目を意識することができるよう留意した。

チェックシートの活用が適切であったかを、事後アンケートと生徒の記述した内容から見取っていく。

図3は、「チェックシートを活用することは、これからの自身の行動の方向性に役立てられると思いますか」という質問(4件法)に対する回答の割合である。

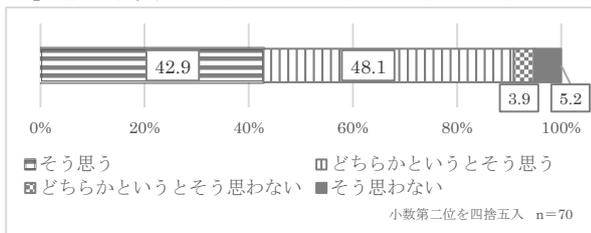


図3 生徒の回答②

チェックシートを活用することが「行動の方向性(指針)に役立てられる」と肯定的な回答した割合は91%であった。「そう思う」と答えた一部の生徒の記述した内容を表5に示す。

表5 「そう思う」と答えた生徒の記述内容
(原文ママ、下線は筆者)

・自分が今何ができてないかが分かるため、これからどんなことを意識しなければいけないのかや、今出来てることなどを把握出来るため これからの行動に役立つと思う。 (生徒E)
・チェックしていくことで自分が何ができて何が足りていないかわかるとこれからの目標が作れたりすると思ったから。(生徒F)

両者の記述内容から、生徒は自らの取組についてメタ認知し、これからの行動にいかそうとしていることが分かる。

チェックシートは、先行研究や「聞くこと」の指導事項を踏まえ、生徒が考えを深めるプロセスを想定して作成している。また、チェックシートを活用し、授業に取り組むことで、生徒は自身の学習の状況の評価できるようになり、メタ認知につながったと考える。

図4は、「チェックシートは、『聞くこと』を意識して取り組むことに効果的だと思いますか」という質問(4件法)に対する回答の割合である。

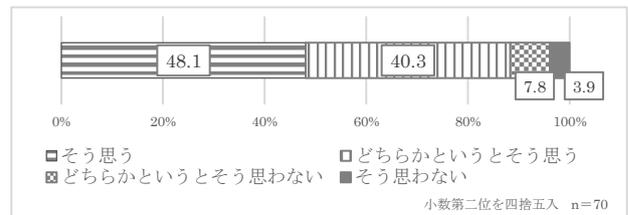


図4 生徒の回答③

アンケート結果において、88.4%の生徒が、チェックシートは効果的だという回答をしている。「そう思う」と答えた一部の生徒の記述した内容を表6に示す。

表6 「そう思う」と答えた生徒の記述内容
(原文ママ、下線は筆者)

・聞くことを意識しようとしても実際どうすればいいのかわからなかつたり、大事な項目をすべて暗記するのは困難なため、それらを解消するチェックシートは効果的だと思います。(生徒G)
・話している人のことを見ることで聞いてくれているということが伝わるし、どこを意識すればいいのかわかるからチェックシートがあった方がわかりやすいと思うから。(生徒H)

チェックシートが「聞くことを意識して取り組むことに効果的であった」という記述が見られた。

以上、仮説の検証事項、ア、イにおいて、聴解力の育成を見取ることができ、ウにおいて、チェックシートの活用は適切だったということが立証された。これらの結果から、チェックシートを活用することは、「聴解力」の育成に効果的であると考えられる。

研究のまとめ

1 研究の成果

事前事後アンケートにおいて変容があった生徒と、授業前から「聞くこと」に積極性があった生徒を対象に、検証授業の約一か月後にインタビューを行った。インタビューをした生徒に共通して、授業における「聞くこと」の取組に変化があり、「聴解力」を意識して継続性を持って実践しているという話を聞くことができた。インタビューの回答を表7に示す。

表7 インタビューの回答抜粋(下線は筆者)

1 「聴解力」の向上を認識していますか。	
生徒I	以前までは集中力が切れてしまっていたが、「聴解力」に出会って、ただ聞くだけでなく <u>組み立てて比較する</u> など、1段階ではなく2段階が必要だったため、 <u>キーワードを聞き取り</u> 、先生や人の話を聞くようになった。
生徒J	認識している。今まではノートを書くのみだったが、 <u>黒板に書いていないことをメモ</u> することができた。
2 検証授業の後から、自身が授業で実践していることは何かありますか。	
生徒K	人の意見に <u>新しい意見</u> を出したり、 <u>意欲的に</u> 聞いたようになるようになった。

生徒L	相手の目を見たり、相手に興味を持ったりするようになった。
-----	------------------------------

次に、振り返りシートにおいて、生徒が聞くことの重要性について意識したことや、他者の考えと比較することで、自分の考えの深まりを実感したことが読み取れる記述内容を表8に示す。

表8 第5時の振り返りシート
(原文ママ、下線は筆者)

<p>本単元で学習したことで、今後の学習や生活の中で生かせそうなこと</p> <p>・今後、<u>国語の授業以外でも</u>、友達と話すときなども、話に興味を持ったり、話しやすい態度をとったりと日頃から意識していけたらいいと思います。「聞く」ということは話すことでもあるので、理解力や語力を高めるように生活の中でも意識したいです。(生徒M)</p> <p>・日常会話でも自分の考えと<u>比較しながら聞く</u>と、新しいことに気付け、それを理解することができると自分の考えも深まる。(生徒N)</p>

他教科や日常生活でも、聞くことについて、より意識していることや、「『聞く』ということとは話すことでもある」という記述から、生徒は「話すこと」と「聞くこと」のつながりを理解することができたと考えられる。

本研究では、聞く姿勢を身に付け、聴解力を育成することを目的にチェックシートを用いた授業を展開した。その結果、生徒は「聞くこと」が非常に重要度の高いものであると認識するようになった。また、他者と異なる見解を持ち、他者の考えを受容し、評価をしていくという生徒の姿勢は、今後、様々な場面でいかすことができるようになることを示唆している。

2 今後の課題、展望

アンケート項目「チェックシートは『聞くこと』を意識して取り組むことに効果的であるかどうか」に対して、否定的な回答をした生徒の意見を鑑み、チェックシートの活用方法や項目立て、詳細な場面設定など、より効果的な「聞くこと」の指導方法について検討することが課題として挙げられる。また、「聞くこと」と同様に「話すこと」のチェックシートがあると、「話すこと・聞くこと」の単元において、より効果的に指導できると考える。今後の実践の中で「話すこと」のチェックシートの作成及び活用の仕方まで検討していきたい。さらに、今回「聞くこと」が「話すこと」に必要なと感じ始めた生徒がいたことから、それらのつながりを計画的に指導していくことが重要であると考える。身に付けた聴解力で自己の考えを形成し、明確に伝え合うことができるような聞き方や話し方の指導方法に関しては、今後の課題としたい。

おわりに

今回の検証授業では、「聞くこと」の重要性を伝えることの難しさを感じた。「聴解力」を身に付けるには、指導の継続性が必要であるため、計画的な指導を心掛けたい。この報告が国語科の「聞くこと」の指導における一助になれば幸いである。

最後に、本研究を進めるに当たり、協力いただいた荏田高等学校の皆様深く感謝申し上げる。

[指導担当者]

徳丸 豪² 西山 貴義² 清野 史康³

引用文献

- 神奈川県教育委員会 2022 「令和4年度 全国学力・学習状況調査 神奈川県公立小・中学校調査結果の分析・活用資料」 p.18
<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/93957/r4gakujoyoushouaikkekashiryou.pdf> (2023年6月21日取得)
- 中央教育審議会 2016 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf (2023年9月20日取得)
- 文部科学省 2019 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 国語編』 東洋館出版社 p.330
- 文部科学省 国立教育政策研究所 2022 「令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書 中学校 国語」 p.8
<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukouku/report/data/22mlang.pdf> (2023年11月11日取得)
- 神田恵美子 2019 「高等学校における『聞くこと』の学習指導の研究」 —「聞くこと」の有用性を明らかにして思考力を伸ばすために— 早稲田大学大学院教育学研究科 博士学位審査論文 p.176
- 滝浪常雄 2013 「国語科における『話すこと・聞くこと』の指導の課題」 安田女子大学紀要 41 p.214
- 山中伸之 2007 「『聴解力』をきたえる三段階指導」 —「聴く子」は必ず伸びる— 明治図書

参考文献

- 高橋俊三 2007 「中学校国語科聞く力の評価と指導 すぐに使える評価テスト」 明治図書

単元指導計画

教科名：国語

1 科目名「現代の国語」

2 単元名： 他者の意見を聞き、自分の考えを深める

3 単元の目標（ねらい）（身に付けさせたい力）

- ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(2)エ
- ・話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)エ
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
〔学びに向かう力、人間性等〕

4 本単元における言語活動

他者の意見を聞き、同意したり、質問したりする活動。（関連：〔思考、判断力、表現力等〕A(2)ア）

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。 (2)エ	「話すこと・聞くこと」において、話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めている。 (A(1)エ)	他者の考えを聞くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めようと、粘り強く学習に取り組み、自らの学習を調整している。

6 単元指導と評価の計画

次	時	学習活動	知	思	主	評価のポイント・指導上のポイント
1	1	○ 単元の目標や学習全体の進め方、チェックシートの使い方について確認し、学習の見通しを持つ。 ○ メモの取り方を理解する。 ○ 単元を通して、動物園の在り方について考える。				・学習のねらい（他者の意見を聞き、自分の考えを深める）と言語活動（他者の意見を聞き、同意したり、質問したりする）の内容を説明し、学習に見通しを持たせる。 ・正確に聞き取るために、メモを取ることが有効であることを伝える。 ・数名指名し、全体で意見を共有する時間を設ける。

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書 86～90 ページ「動物園というメディア」の本文を聞き取り、それぞれの段落におけるキーワード、要約をワークシートへ記入する。 ○ 内容全体に触れ、筆者の考えを知る。 ○ 振り返りシートを記入する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りのためのワークシートについて、段落を追うごとに難易度を高くする。
2	2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元を通して扱うチェックシートの項目に触れ、目標を確認する。 ○ テーマについて、自分の考えを整理する。 ○ 発表原稿を作成する。 【学習活動①】 ○ テーマごとにグループに分かれ、意見交換する。 (1人1分程度) 【学習活動②】 ○ 他者の意見はメモを取りながら聞く。 【学習活動③】 ○ 聞き取った情報を整理し、ワークシートに書き込む。 【学習活動④・⑤】 ○ 振り返りシートを記入する。 	○		<p>〈テーマ〉(先に提示する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①動物園の役割 (求められていること) ②動物園の現状 (実態) ③動物園の未来 ④災害時の動物園 ⑤動物園の歴史 <p>[知識・技能] 「記述の点検」<u>事前配付ワークシート</u> 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見に同意したり、質問したりできるようなメモを取るように伝える。 ・意見をまとめる係・発表係に〔テーマ別発表グループ発表用シート〕を記入させる。
3	4 ・ 5	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれのグループで話し合ったことを発表し、全体で共有する。 (1グループ2分程度) 【学習活動⑥ (1)・(2)】 			

	<p>○ 学習を通して、テーマに対する自分の考えをまとめる。 【学習活動⑦】</p> <p>○ チェックシートを通して、本単元の学習を振り返る。</p> <p>○ 振り返りシートを記入する。</p>		<p>○</p> <p>[思考・判断・表現] 「記述の分析」ワークシート 話の内容や構成を評価し、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めている。</p> <p>・振り返りシートは毎時書かせるが、単元のまとめでは「本単元を通して学び得たこと」や「今後の学習や生活の中で生かせそうなこと」を加えて記入させる。</p> <p>○</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 「記述の分析」ワークシート・振り返りシート 他者の考えを聞くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めようと、粘り強く学習に取り組み、自らの学習を調整している。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研究授業

◇本時の目標（第5時）

聞き取った情報を共有し、自分の考えを広げる。

◇指導過程

段階	学習活動	時間	指導上の留意点・評価【観点】（評価方法）
導入	○ 前回の振り返りと本時の目標の確認を行う。	5分	
展開	<p>[展開1]</p> <p>○ 前時に続き、後半の5グループが発表し、全体で共有する。</p> <p>○ 前回発表が終わっているグループは自分たちの発表との相違点を見つける。</p> <p>【学習活動⑥(1)(2)】</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループ2分程度で発表を行う。 ・全体での共有の際、前回の発表と同様に、新たな視点を持つ意識で聞くことを促す。

	<p>〔展開2〕</p> <p>○ 学習を通して、テーマに対する自分の考えをまとめる。</p> <p>【学習活動⑦】</p> <p>○ 本単元の学習を振り返り、チェックシートを基に、「聞くこと」について考えをまとめ、本単元の学習について振り返る。</p>	20分	<p>〔思考・判断・表現〕</p> <p>「記述の分析」 (ワークシート)</p> <p>話の内容や構成を評価し、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めている。</p> <p>・「本単元を通して学び得たこと」や「今後の学習や生活の中で生かせそうなこと」を記入させる。</p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 (振り返りシートの記述の分析)</p>
まとめ	○ 本時の学習内容を整理し、自らの学習課題が達成できたかどうかを振り返る。	5分	・チェックシートの項目を達成できたか確認する。

資料	ワークシート、チェックシート、振り返りシート
----	------------------------

「動物園というメディア」 聞き取りワークシート (1・2段落)

() (組) (番 氏名)

○単元の目標 「聞き取った情報を整理して、自分の考えを深めることができる。」

問 動物園は何のためにあると思いますか。

↓)

第1段落 . . . 自然と人の関係の今昔

①聞き取り、空欄を埋める。

- ・「自然を大切に」という看板を、動物園に限らず、
- 「 」や「 」で、「 」でも見かける。
- ・「 」と「 」のつながりを認識するためにも、
- 「 」を感じる事が重要。
- 自己と対象との間に、「 」
- ・「 . . . 自然と人の関係づくりの基本。
- 「 」事業の中心 . . . 自分たちから遠くかけ離れた
- 「 」にいる動物の展示が主流。
- ・動物園にやってくるのは、身近な日常空間に「 」
- 「 」
- ・かつては生活空間に身近な「 」がいた。
- ・人は生き物の動きで「 」を感じた。
- ↓それが日常であり、民俗学で言う「 」の世界。
- ・非日常の世界「 」の日に動物園動物がいた。
- それは「 」という線でつながっていた。
- ・今は「 」の世界に生き物がいない。
- ↓「 」の世界に動物がいても、
- 「 」の生命と結びつかない。

【要約】

現代社会では日常の生活空間から生き物が消え、その結果、人は動物や自然との同一感を得られなくなりました。

第2段落 . . . 同一性の創造のために動物園にできること

②「動物園にできること」に関するキーワードを聞き取り、要約の空欄を埋める。

【要約】

動物園は、人が「 」を感じやすい動物を主役にし、市民生活の場面にかつてあった「 」を感じる場を再生すべきである。

<p>「メモの取り方」 *単語を書く。 *矢印や記号・数字・線を使う。 *箇条書きでよい。</p>	<p>「メモ」</p>
---------------------------------------------------------------	-------------

問 筆者の意見を踏まえて、あなたはどのような動物園を作りたいと思いますか。

↓)

)

第3段落 . . . 「西欧」と「日本」の文化・思想

③ 西欧と日本の違いをまとめる。

「メモ」

○ 西欧 ↓

○ 日本 ↓

【要約】

「」の文化・思想は「」を明確に区分し、
主体側を優位に置いた征服の思想となったが、「」の
文化・思想は対象への同調と調和と継続を基調とした
「」の思想である。

第4段落 . . . 自然と人の共生のために

④ 動物園の社会的役割について要約する。

【要約】

【筆者の考え】

人間と、生き物を含めた自然それぞれの意味や役割を、関係性の中に見だし、自然を身近に感じながら、
保全や保護に努めることが大切ということ。

・学習活動⑥(2) 自分が調べたテーマ以外の8グループの発表を聞いて分かったことをキーワードのみメモする。*「」には4つのテーマを記入。

「」班・「」班

「」班・「」班

「」班・「」班

「」班・「」班

・学習活動⑦ 学習活動①に記載したことと比較し、他者の意見を聞いた上で、最終的な自分の考えをまとめる。

Large empty rectangular box for student notes.

一年国語科学習ワークシート 現代の国語

() 組 番 氏名

『動物園というメディア』

山本 茂行

〈単元の目標〉

聞き取った情報を整理して、自分の考えを深めることができる。

〈単元の流れ〉

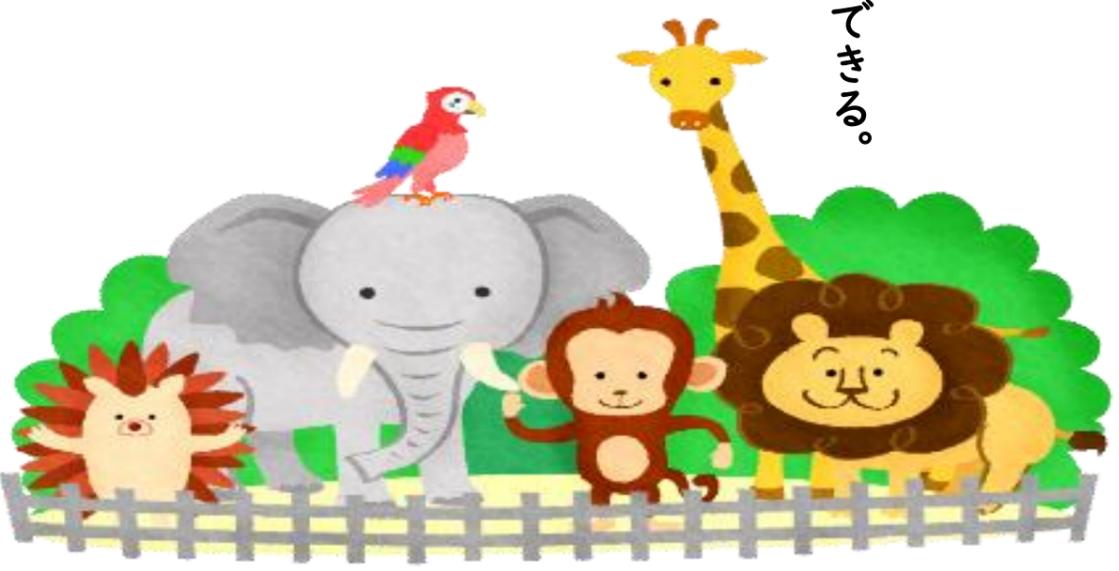
- 一 時間目 チェックシートの活用を通して、聴解力を理解する。
- 二 時間目 聞き手を意識して、テーマに沿った発表原稿をまとめる。
- 三 時間目 多様な意見を知り、新たな視点を持つたり、自分の考えを深めたりする。
- 四・五 時間目 聞き取った情報を共有し、自分の考えを広げる。

「各グループの役割分担について」 * 必須(名前を記入)

- ・ファシリテーター 1名 *
 - ・発表係 1名 *
 - ・グループ内の意見をまとめる係 1名または2名 *
- ↓A4のプリントにまとめる。

*ファシリテーターの役割とは…

- ・全員が意見を発言できるように、なんとなく促す。
- ・話が本筋から逸れそうになったら、それとなく戻す。
- ・時間内に話が終わるように、人一倍時間を気にする。



・学習活動① **発表原稿**を作成する。*聞き手のことを考え、自分が【伝えたいこと】と【課題に思うこと】の2点をまとめる。

【伝えたいこと】

【課題に思うこと】

・学習活動② 係を決め、グループ内で**発表**をする(1人1分程度話す)。聞き手は意見をメモする。*キーワードのみをメモし、全文は書かないこと。

(1)

(2)

(3)

・学習活動③ 聞き取ったメモを参考に、自分の意見と比較し、**新たに気付いたこと**を書く。(箇条書きで良い)↓学習活動④で話す。

・学習活動④ **意見交換**をしながら、【参考になった意見】と【問題点・疑問点】をメモする。

【参考になった意見】

【問題点・疑問点】

・学習活動⑤ 問題点・疑問点について、改めて**自分の考え**を書く。

・学習活動⑥ (1) **同じテーマ**のグループの発表で、自分たちとは異なる意見をメモする(発表者は2分程度話す)。*自分たちのグループで出なかった意見など。

科目	「現代の国語」
〔目標〕	1. 話の内容を正確に聞き取る。 2. 話を素直に聞いて自分の行動の指針にする。 ⇒ 聴解力
〔指導事項〕	「聞くこと」(エ) 話の内容や構成を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めている。

(使い方)

- ・単元の目標として、最初にチェックする項目を決めるので意識するようにしてください。
- ・単元の最後に、意識して取り組むことができた人は、最初に決めた項目にチェックをします。
- ・「現代の国語」の一年間の授業で、すべての項目において1回以上のチェックを目標とします。

「聞くこと」を通して自分を育てるチェックシート

分類		項目	日付	チェック	
へ 自 己 探 求 の 過 程	「意識」	(1) 信頼関係の向上 ☆			
		・話している人の顔を見る。(→話していることを認識する)		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		○話し手が話しやすいような態度で聞く。(→相槌を打つ、頷く)		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		・話を素直な態度で、真心を込めて聞く。(→話し手の立場になる)		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		・話し手の意見を尊重して聞く。(→存在感を共に感じる)		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		○話に興味を持って楽しんで聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			○新しいことを知るために進んで聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			・聞き取り、理解したことを謙虚に受け止める。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	「資 質 ・ 能 力」	(2) 情報の整理 ☆☆	・情報を整理し、問題意識を持って聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			○聞き手としての立場や、聞くポイントを意識して聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			・話の展開や筋道に矛盾がないか考えながら聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			・話の内容の不足している点を考えて聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
・要点を聞き取り、主張や結論を予測する。				<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
・話し手の意図を予測して質問できるようにする。				<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(3) 対比と分析 ☆☆☆		・要点をまとめながら聞き、メモを取って聞き漏らさないようにする。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		・話の内容と相手の意図、場面を正確に捉える。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		○話の内容を自分の意見と比較しながら聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		・複数の発言の共通点と相違点、事実と意見を区別しながら聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		・感想や質問を持ち、話を批判しながら聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		・資料(図、表、映像など)と関連付けて聞く。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(4) 統合 ☆☆☆☆	・聞きながら自分の意見をまとめる。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
	○聞いた内容から自分の考えを修正し、より良い考えや、新しい考えを構築する。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
	・意見の賛成、反対を考えながら聞き、自分の思考を決定する。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
	・聞いた話に関連のある資料を集めて、話に役立つようにする。		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

〈最終目標〉・・・「聴く」姿勢が整い、「聴解力」が身に付いていること。